

表彰の受賞(全国技士会長等)	301	受賞者	表彰日	10/1件
<p>表彰は、公平性から以下の①もしくは②の表彰に限ります。同じ工事による同一人への重複したユニットの加算は行いません。</p> <p>①全国技士会が行う表彰のうち表彰規程4条の1、2および5条で技術的な事項による場合</p> <p>② ①以外で原則国土交通大臣、地方整備局長、北海道開発局長、沖縄総合事務局長、知事(知事表彰がない都道府県は土木部長等。ただし、出先機関は除く)が工事の優秀なこともしくは施工技術の開発で、個人・工事を表彰する場合(工事表彰の場合は、工事の監理技術者・主任技術者を対象とする)。学習プログラム名称に表彰の賞状名(工事名等)を入れ、表彰状とその工事の監理・主任技術者がわかる資料を送付してください。表彰対象者は1工事に対し1名としますが、JV等で同じ工事に複数の表彰がある場合にはユニット配分します。同じ工事による同一人への重複したユニットの加算は行いません。</p> <p><b>【必要書類例】</b>表彰状(表彰者が主催と同一であること)・登録内容確認書(工事カルテ)等・複数名の場合 合意書(JCM 様式) 資料は pdf 登録のみの受付となります。</p>				
インターネット学習(全国技士会Web-CPDS含む)	403*	学習者	学習日	1/1時間
<p>原則要試験(合否有無)・要合格者への受講証明書配布であること、受講のログが確認できるシステムであることが必須です(Web-CPDS除く)。</p> <p>全国技士会が運営するWeb-CPDSは技術検定と同水準であることから他と区別します。利用するにはCPDSへの加入後、Web-CPDSに有料で加入する必要があります。</p> <p><b>【必要書類例】</b>それぞれの受講証明書、修了証等</p>				

表5 年間取得ユニットに上限のある学習プログラム

学習プログラム	形態コード	上限ユニット	上限を超えた場合の処理	適用開始
社内研修	101-1	6	学習履歴証明書発行時に年間6ユニットを超えた分に関しては除外します(社外の幅広い情報とのバランスを考慮)。	2008年度
技術力以外の要素が主な講習(A分類2分野)	101-2	6	学習履歴証明書発行時に年間6ユニットを超えた分に関しては除外します(他の幅広い形態とのバランスを考慮)。	2019年度
指定テキストによる技士会主催講習	103	12	2ユニット/1時間については、103と106の合計が年間上限12ユニットとなります。年間12ユニットを超えた分に関しては、学習履歴証明書発行時に1ユニット/1時間での計算となり上限はありません。	2008年度
5年ごとの更新時の監理技術者講習	106			2011年度
DVD学習、映画等	108	6	学習履歴証明書発行時に年間6ユニットを超えた分に関しては除外します(双方向学習とのバランスを考慮)。	2015年度
インターネット学習(2018年度以降実施のWeb-CPDS含む)	*402 403		学習履歴証明書発行時に、インターネット学習以外のユニット全てを合計した値と同じユニット数まで、インターネット学習のユニットを反映することができます。ただし、インターネット学習以外のユニット数が6ユニット以下の場合には上限を6ユニットとします。 ※「インターネット学習以外のユニット全てを合計した値」とは、形態コード403以外で上限調整があるユニットは調整後の合計の値です。14ページに計算例あり。	2021年度

\*402 は 2017 年度以前のインターネット学習(Web-CPDS 除く)です。  
年間上限については P10 ④も参照ください。

### 【形態コード 403 を含むユニット計算例】

以下のようにユニット登録があり、2020/02/01～2021/1/31 の 1 年間で学習履歴証明書を発行したい。

◇	2020/04/05	形態コード 403	6 ユニット
☆	2020/05/06	形態コード 106	12 ユニット
◇	2020/07/01	形態コード 403	6 ユニット
☆	2020/09/22	形態コード 103	4 ユニット
	2020/10/01	形態コード 101	3 ユニット
◇	2020/10/04	形態コード 403	6 ユニット
	2020/10/05	形態コード 101	1 ユニット
◇	2020/10/06	形態コード 403	6 ユニット

※「◇」形態コード 403、「☆」形態コード 403 以外で調整がある形態コード

形態コード 103・106 (☆)は年間上限があるので調整をする。

2020/05/06	監理技術者講習	形態コード 106	12 ユニット
2020/09/22	河川の維持管理	形態コード 103	4 ユニット

12 ユニット + 4 ユニット = 16 ユニット

形態コード 106 と 103 は 1 時間 2 ユニットで登録しているが、合計 12 ユニットの超えた場合は 1 時間 1 ユニットで計算する。

12 ユニットの超えた 4 ユニットに関しては、1 時間/1 ユニットの計算になり 2 ユニットに調整される。

よって、形態コード 106・103 は合計で「14 ユニット」となる。

形態コード 403 以外のユニットは「20 ユニット」だが一部調整があり【合計 18 ユニット】

2020/05/06	形態コード 106	<del>12 ユニット</del>	} 合計 14 ユニット
2020/09/22	形態コード 103	4 ユニット	
2020/10/01	形態コード 101	3 ユニット	
2020/10/05	形態コード 101	1 ユニット	

形態コード 403 以外のユニット数「18 ユニット」が形態コード 403 の上限となる。

形態コード 403 (◇)の合計が 24 ユニットだが、調整され【18 ユニット】となる。

2020/04/05	WEB 学習	形態コード 403	6 ユニット
2020/07/01	WEB 学習	形態コード 403	6 ユニット
2020/10/04	WEB 学習	形態コード 403	6 ユニット
2020/10/06	WEB 学習	形態コード 403	6 ユニット

形態コード 403 以外と形態コード 403 を合計した数値が合計ユニット数となる。

形態コード 403 以外 18 ユニット + 形態コード 403 18 ユニット = 合計 36 ユニット

学習履歴証明書には【36 ユニット】と表示される。